

F 05020 T 01

DEPARTMENT OF PHYSICS
OSAKA IMPERIAL UNIVERSITY.

DATE _____
NO. 1

宇宙線理論の近況
(~~Oct 26~~^{Nov. 10} 1938)

144回 物理法学会にて
湯川秀樹

丁度 2年前 (Nov. 26, 1936) の法学会で「宇宙線の
同位理論の現状」といふ題で 綜合的にお話を致しし後、その
~~後~~ 以来 理論と実験との矛盾の解決について多くの根本的の相違
が露わした。大體宇宙線の理論は幾多の矛盾の存在を認め
たが、~~それら~~ これらの ~~矛盾を~~ 理論の進歩の途
に 対応して 考へられた 概して 学問的 にとり 扱へた。

特に、~~最近~~ 2年前の法学会にて 幾多の 報告 致した 事がある。

- 1) Shower の ~~説明~~ electron or photon による cascade process
として 説明 (した) こと。
- 2) Primary の Soft Comp. と、~~後~~ Hard Comp. と
を 区別 Secondary とし こと。
- 3) Hard Comp. の electron と Proton の 中間の 状態 について
の 議論 を 述べ こと。

最近 2年の 理論の 進歩 について 報告 した。

坂田 昌一, 玉木 英彦: 科学 7年 8月 9月 号 (1938)
宇宙線の理論。

Euler und Heisenberg: Theoretische Gesichtspunkte zur
Deutung der Kosmischen Strahlung (Zsg. d. Exak. Naturwis.
Bd 17, 1938)

の 詳細に discussion がある。Euler 等の 報告 後 Russell 等
の 報告 後 の 報告 等 も あり、却り 整理 された 事がある。こゝで
述べて いる こと について Euler 等の 報告 後 整理 された 事がある。